



水道料金徴収等業務を民間委託 那賀川支所内に「お客様センター」開設



「阿南市水道料金お客様センター」の開所式が、10月1日、那賀川支所前で行われました。

「阿南市水道料金お客様センター」は、「阿南市行財政改革推進大綱」に基づく行財政改革の一環として、市民サービスの一層の向上と経営の効率化や民間活力の積極的な活用を図る目的で導入し、「指名型プロポーザル方式」により選定された株式会社ジェネッツが運営します。

委託する業務は、水道料金・下水道使用料の収納および徴収業務、滞納整理業務、受付・窓口業務、システム管理等業務で、委託期間は平成27年3月31日までの2年半。約500万円の経費削減を見込んでいます。

恋活パーティーに約200人が参加 会話を弾ませ交流深める



官民でつくる婚活支援組織「阿南 de 愛隊」による初めての恋活パーティー「AKB 阿南で恋してブライダル～first season～」が10月14日、市内のホテルで開催され、独身男女約200人が参加しました。

パーティーは、テーブルに着席して飲食しながら会話を楽しむプログラムで行われ、吉本興業所属で「徳島県に住みます芸人」の「キャンパスボーイ」による漫才もあり、和気あいあいの夜を楽しみました。

参加した30代男性は、「こうした場を設けていただけたことはありがたいです。」と、気に入った女性とメールアドレスを交換したりして交流を深めていました。

10月9日からドクターヘリの運航開始 出動要請から約12分で到着



10月9日から徳島県ドクターヘリの運航が始まりました。基地病院は徳島県立中央病院で、運航圏域は徳島県全域と基地病院から半径100km圏内に位置する和歌山県の一部と兵庫県淡路島。時速約220kmで飛行し、阿南消防署までは、出動要請から約12分で到着します。

9月14日の見学会に参加した伊勢さよりさん（39歳・福村町）は、「ヘリの中は思ったより狭く感じました。ドクターヘリの導入は安心につながります。」と話していました。県立中央病院の三村医師は、「現場に医師を派遣し、いち早く医療行為が行えることが一番のメリットです。」と、期待を寄せていました。

防災行政無線デジタル化工事 始まる



防災行政無線デジタル化工事の着工を前に、9月19日、中継局が設置される津峯山の津峯神社で安全祈願祭が行われました。この工事は、南海地震や大規模災害に備えるため、市が約13億3千万円をかけて整備するもので、市内250カ所に屋外拡声子局などを設置します。デジタル化により、J-アラート（全国瞬時情報システム）に対応できるほか、登録すれば放送内容が携帯電話にメールが届くサービスや電話で内容を問い合わせできるサービスを受けられるなど、多様な情報伝達手段が確保されます。

工事は沿岸部を優先して行い、平成27年3月末の完成をめざします。

加茂谷6班 初の大舞台で実力発揮 全国消防操法大会で11位と大健闘！



「第23回全国消防操法大会」が10月7日、東京臨海広域防災公園で開催され、徳島県代表として出場した加茂谷分団第6班の皆さんが、小型ポンプの部で23チーム中11位と大健闘。初の大舞台で実力を発揮しました。

4番目に登場した加茂谷分団は、阿南市から駆け付けた応援団の声援を力に変え、正確で俊敏な操法を繰り広げました。惜しくも入賞は逃しましたが、班長の片山司さん（46歳）は、「地元をはじめ多くの方の協力で勝ち得た11位で、本当に感謝しています。4年後もこの舞台で1つでも良い成績を残せるよう頑張りたいです。」と話していました。

個人表彰では、3番目の原 誠一さん（36歳）が優秀選手に選ばれました。徳島県勢で初のタイトルです。

日本女性会議(男女共同参画)2013あなん 大会ロゴマークが決まる



来年10月11日から阿南市で開催される「日本女性会議(男女共同参画)2013あなん」の大会ロゴマークが決まりました。10月4日に選考会が行われ、6人の審査員が72点の応募作品の中から最優秀賞1点と優秀賞2点を選出。最優秀賞には、梅村元彦さん（72歳・愛知県春日井市）の阿南市の頭文字「A」をモチーフにした作品が選ばれました。「笑顔で明るく男女がお互いに話し合い、共に仲良く生きていくこと」がイメージされています。副実行委員長の吉田 靖さん（阿南工業高等専門学校校長）は、「大会のコンセプトに合った作品で、色合いにも温かさを感じます。みんなで協力して大会を成功させたいです。」と話していました。

伝統文化等補助金事業を機に活動広がる 「原の獅子舞」54年ぶりに奉納



那賀川町原地区に伝わる民俗芸能「原の獅子舞」の保存に取り組んでいる「原の獅子舞保存会」の皆さんが、9月14日、八幡神社例大祭（今津地区）で獅子舞を奉納しました。神社祭礼で「原の獅子舞」が奉納されるのは、昭和34年以来、実に54年ぶり。八幡神社では初めてです。

保存会会長の生原保一さん（75歳・那賀川町）は、「新調されただんじりに花を添えることができてよかったです。これからも、公民館活動の一環として活動を続けていきたいです。」と話していました。同保存会は、平成23年度「阿南市伝統文化等補助金事業」を機に会員が30人に増え、公民館祭や敬老会などで活躍しています。

被災地・気仙沼に元気を届けたい！ あなん市民ミュージカルが熱演披露



気仙沼復興支援を掲げて行われた「あなん市民ミュージカル」による創作ミュージカル「夢見竹のかくれんぼ」が、10月6日、7日の2日間、夢ホールで上演されました。

物語は、両親の離婚を機に都会から母の実家である田舎（阿南）に帰ってきた少女が、記憶を消す力を持つ「たけのこの精」や幼なじみとの触れ合いの中で、つらい現実を受け止め前向きに生きていこうとする姿を描いたもの。出演者は、被災地・気仙沼の皆さんを少しでも元気づけたいと、2日間にわたり熱演を繰り広げ、会場は熱気と感動に包まれました。

公演は3回行われ、約1,500人を動員しました。